

## 事業の概況

### ■企業のIT投資需要は底堅く推移

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、資源価格の高騰や物価高に加え、世界的な金融引き締めが国内経済に与える影響など先行き不透明感はありましたが、5月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、経済活動が正常化に向かう中、景気は緩やかな持ち直しが続きました。

このような経済状況にあってIT投資分野では、企業のソフトウェア投資計画も増加傾向にあり、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的としたデジタル化への対応などIT投資需要は底堅く推移しました。

新型コロナ、5類感染症に変更  
景気は緩やかな持ち直しが継続

### ■お客様接点の強化に努める

以上のような環境において当社グループは、「お客様に寄り添い、まるごとDXで共に成長する」を2023年度のスローガンに掲げお客様接点の強化に努め、営業活動においては当社グループの強みを活かせる訪問による商談が活発化いたしました。具体的には、労働基準法の改正、改正電子帳簿保存法やインボイス制度への対応などワークフローの見直しやセキュリティ対策、DX統合パッケージとクラウドサービスを組み合わせた業務のデジタル化や効率化へ向けた提案を行いました。また中堅・中小企業のお客様でも手軽にAIの価値を享受できるサービスも含め、当社自身がAIによる業務プロセス改革など生産性向上を実現してきた事例を踏まえながら、DX推進への取り組みを支援いたしました。

訪問による商談が活発化  
業務のデジタル化、効率化提案

## ■売上高及び各利益は過去最高を更新

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、堅調な企業のIT投資需要を捉えることで一企業当たりの売上高の増加もあり、5,210億56百万円(前年同期比17.0%増)となりました。利益につきましては、人件費等を中心に販売費及び一般管理費は増加したものの増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益367億12百万円(前年同期比19.3%増)、経常利益376億23百万円(前年同期比18.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益254億17百万円(前年同期比11.2%増)と増収増益となり、売上高及び各利益は過去最高となりました。

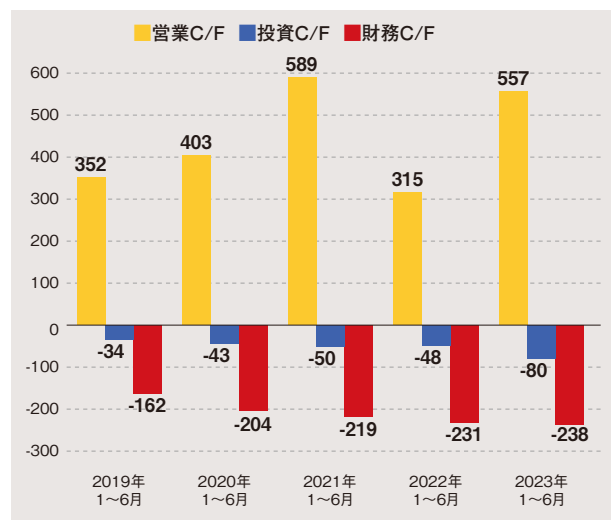
(単位：百万円)

	2022年1～6月	2023年1～6月	
	金額	金額	増減率
売上高	445,336	<b>521,056</b>	<b>+17.0%</b>
営業利益	30,778	<b>36,712</b>	<b>+19.3%</b>
経常利益	31,747	<b>37,623</b>	<b>+18.5%</b>
純利益*	22,848	<b>25,417</b>	<b>+11.2%</b>

※親会社株主に帰属する純利益

## ■キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動から得られた資金は「棚卸資産の増減額」が減少に転じたことなどにより、前年同期に比べ241億55百万円増加し、557億38百万円となりました。

投資活動に使用した資金は「有形固定資産の取得による支出」が増加したことなどにより、前年同期に比べ32億11百万円増加し、80億24百万円となりました。

財務活動に使用した資金は「配当金の支払額」が増加したことなどにより、前年同期に比べ7億28百万円増加し、238億30百万円となりました。

## 四半期別の概況

### ■売上高の推移

売上高は、第1四半期(1～3月)、第2四半期(4～6月)ともに増収となりました。

第1四半期(1～3月)売上高は、2,426億9百万円(前年同期比15.5%増)、第2四半期(4～6月)売上高は、2,784億47百万円(前年同期比18.4%増)となりました。

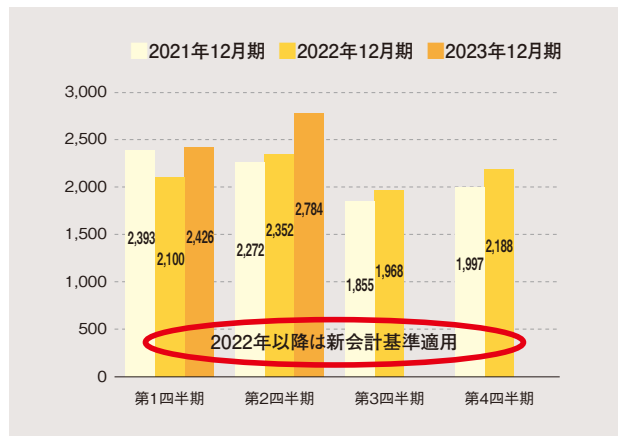
### ■経常利益の推移

経常利益も、第1四半期(1～3月)、第2四半期(4～6月)ともに増益となりました。

第1四半期(1～3月)経常利益は、174億31百万円(前年同期比21.6%増)、第2四半期(4～6月)経常利益は、201億92百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

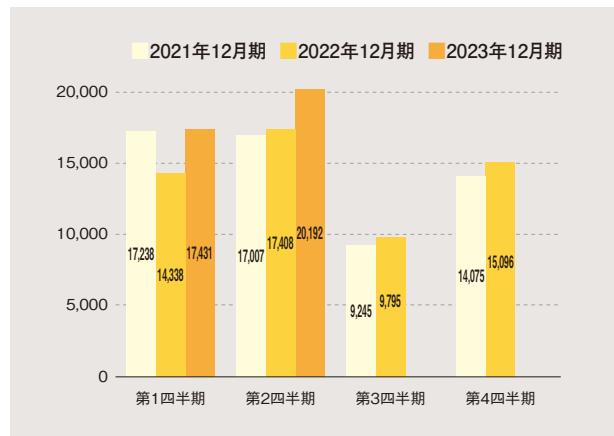
売上高の四半期推移

(単位：億円)



経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



## 事業セグメント別の概況

### ■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、パソコンや複写機等の増加によるハードウェアの伸びに加え、「SMILEシリーズ<sup>※1</sup>」などパッケージソフトも順調に推移し、売上高は3,503億3百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

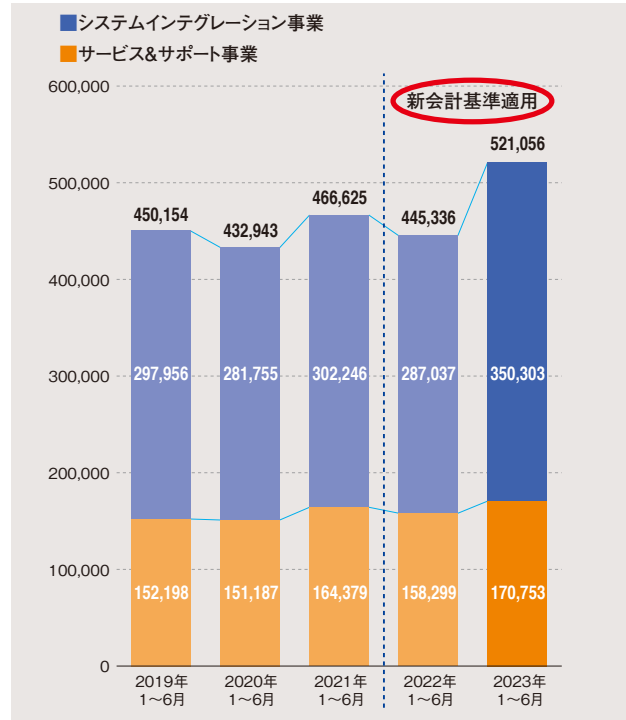
### ■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」やサポート事業「たよれーる<sup>※2</sup>」などストックビジネスに引き続き注力し、売上高は1,707億53百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

※1 SMILEシリーズ＝当社グループオリジナルの統合型基幹業務システム。  
※2 たよれーる＝お客様の情報システムや企業活動全般をサポートする事業ブランド。

### 事業セグメント別の売上高推移

（単位：百万円）



「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年連結会計年度の期首から適用しております。これに伴い、2022年以降の連結会計年度における売上高は、従前の会計処理と比較して減少しております。